

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 1】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【施策の課題】</b> 限られた財源等の中で効果的・効率的な行政運営を行うためには、行政資源の適正配分が必要である。 行政環境の変化に対応できる職員の育成が必要である。</p>	<p>「行政資源」あるいは「行政環境」という2つの熟語がやや抽象的でわかりづらい。</p>	<p>用語のわかりやすい表現について検討する。</p>
<p><b>【施策の成果指標】</b> ①各施策目標達成度割合 ②市の行政運営に満足している市民割合 ③実質公債費比率</p>	<p>各施策目標達成度割合と言われてもわかりづらい。例えば費用対効果といった表現の方法はないのか。</p>	<p>施策目標達成度割合を費用対効果で見せることも簡潔な手法と思うが、施策評価が単に費用対効果で表現可能かどうか研究する。</p>
	<p>市の行政運営に満足している市民割合を住民の満足度というような表現にできないか。</p>	<p>「満足している市民割合」については、よりよい表現を今後検討する。</p>
	<p>実質公債費比率をもう少しわかりやすい表現にできないか。</p>	<p>実質公債費比率は、行政ではスタンダードな指標であり、行財政改革の4指標として公表されている。もう少し表現がわかりやすくなるか検討する。</p>
<p><b>【施策の達成状況】</b> 各施策目標達成度割合は、第5次総合計画後期基本計画の全体の進捗度を表すもので、平成21年度は後期の1年目であり、後期5年を終了しなければ確定しないものではあるが、全51指標のうち、向上したものが15、低下が11、維持が19となっている。</p>	<p>施策の達成状況の記載の中で、3つの成果指標のうち2番目と3番目についての原因分析の記述がない。実質公債費比率については国からの交付金が多かったという説明があったのでそれを記載すべき。2番目の市民割合の変化については、統計誤差の範囲内というならその旨、あるいは上昇している理由を記載すべき。</p>	<p>次年度評価の際に指摘のとおり記載する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【施策の環境変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の新行革指針（助言）に基づき、行政改革大綱を見直すとともに、行政改革推進計画（平成17年度～21年度）を策定</li> <li>・財源等行政資源の制約…歳入の根幹である市税は税制改革（税源移譲）などで伸びが見られたものの、一方では、地方交付税は、国の財政構造改革の影響でマイナスの状況の中、収支不足を臨時財政対策債で補填するなど、依然として厳しい財政的制約が課せられた</li> <li>・江別市の人口減少が始まり、高齢者の増加と生産年齢人口、年少人口の減少がみられる</li> </ul>	<p>効果・効率や財政状況に照らし無駄を省くことは比較的簡単に図れるが、市民にとって必要なのか、妥当なのか必ずしも行政目線とは一致しない。市民にとって必要な改革をもっと踏み込んで課題提起すべき。</p> <hr/> <p>自主財源の確保、増加についても政策の課題にいれるべきではないか。</p>

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進 基本事業01 行政改革の推進と健全な財政の確保	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 2】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【事業の成果指標】</b> ①行革推進計画達成率 ②市税収納率（現年課税分） ③自主財源比率</p>	<p>「行革推進計画達成率」という表現がわかりづらい。</p>	<p>次年度評価で表現について検討する。</p>
<p><b>【事業の達成状況】</b> 行革推進計画は平成17から21年度の計画であり、5カ年の達成率は83.9%となっている。達成できなかった主なものは、「人材育成基本方針の実施」「市民の声データベース化」等であり、達成に向けた手法の検討を進める。 市税収納率は、低迷する社会経済情勢下にあつて、細かな収納督励等により98.2%を確保しており、自主財源比率にあつては47.3%であるが、引き続き自主財源の涵養に努めたい。</p>	<p>行革推進計画は平成17年度から21年度の計画となっており、達成できなかったものに関しては達成に向けた手法の検討を進めると記載されているが、これは、市民感覚では言うが遅すぎると思う。 「いつ、いつまでに」という計画案をしっかりと練った上での言葉にしないと、手法から始めるというのは不十分ではないか、説明不足になるのではないか。</p>	<p>行革推進計画はそれぞれ毎年度ローリングで一定の評価、進捗状況の管理をしてきている。記載の中で「手法の検討」としたのは現行の枠組みの中での手法ということではなく、今後、違った部分での考え方あり方自体を次の計画において検討するという表現である。</p>
	<p>達成状況の中で自主財源比率の数値と成果指標の数値が違う点と、先ほど説明があった定額給付金18億円の話についても記載。 それと「涵養に努めたい」という表現を、わかりやすい表現に。</p>	<p>次年度評価で指摘のとおり改善する。</p>

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進 基本事業02 行政サービスの向上	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 2】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【事業の達成状況】</b> アンケート結果の満足度指標は、これまでと同じ傾向が見られ、個々の職員に接遇面でのマナー向上が浸透し、市民に対する懇切丁寧な対応が定着してきていると判断する。今後とも、市民サービスをより一層向上させるため、引き続き職員の意識啓発に努める。</p> <p>また、電話交換職員及び窓口案内職員に対しては、市民から大変好意的な評価を受けていることから、今後も人材派遣会社と連携を図り、市民サービスの質の維持向上に努めていく。</p>	<p>達成状況の文言の中に行政サービスの具体的な項目を挙げられているが、市民が求めている行政サービスというのはタイムリーな情報提供や情報公開、法の遵守というようなことで、もっと上のものでないかと思う。施設サービスの満足度というのはここでいう窓口受付がいいことではなく、指定管理者が非常に効率的な施設運営をしているというようなことではないか。</p>	<p>基本事業の下にある事務事業が、指定管理者や総合案内窓口の事業であることからこのような記載になっている。</p> <p>行政サービスの向上の施策では情報提供や協働の部分などのレスポンスが良いことなどになるが、施設の運営などについてはそれぞれ事務事業に組み込まれ、他の施策の中にあるため、この基本事業の中にある指定管理者施設や窓口といった事業の評価が一番合致している。</p> <p>体系的に効率的な行財政運営の中の行政サービスの向上での達成状況の表現をもう少し工夫するか、あるいは将来的にこの基本事業がこの形でこの施策の中にあるのが良いのか、他の事業との組み合わせで他の施策へ組み替えるということもあるのかということも含めて研究する。</p>
	<p>電話交換あるいは窓口というように、この部分だけ特筆し達成状況の欄に記載するのは適切ではない。</p>	

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【事業の成果指標】</b> ①行政サービス満足度 ②施設サービス満足度</p>	<p>行政サービスの満足度、施設サービスの満足度、これに加えてやはり住民の満足度という指標もあるのではないかと。それと市民が求める行政の要望、課題について把握し表現したらよろしいのではないかと。</p>

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進 基本事業03 政策形成能力の向上と組織体制の確立	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 3】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【事業の達成状況】</b> 職員数の削減などにより、引き続き総人件費の抑制に取り組んでいるが、多様化、複雑化する行政事務や、長引く社会経済情勢の低迷などにより、成果指標は、ほぼ横ばい傾向となっている。引き続き、資質向上に向けた職場内外における研修等により人材育成を計画的に実施し、人事考課などを通じて意欲と能力を引き出す方を推進する。</p>	<p>「長引く社会経済情勢の低迷」が、この成果指標に影響を与えていると記載されているが、関係ないのではないか。 人事考課がいつから実施しているか記載すること。</p>	<p>次年度評価時によりの確な表現を検討する。</p>

7

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【事業の目的】</b> 地域の自主、自立を目指し、職員の政策形成能力などを向上させるとともに、簡素で効率的な組織体制と、職員の能力を生かせる人事制度を確立します。</p>	<p>「簡素で効率的な組織体制」と記載されているが、どう考えて「簡素」という言葉になったのか。「人員を減らす」＝「簡素」とならないことを期待する。「専門性が高く少人数でも効率的である」ということであれば非常に評価されると思うが、表面的に人を減らすことで「よくやっている」という意味では使ってほしくない。</p>
<p><b>【事業の全体の指摘】</b></p>	<p>ここの要点は、広い意味での危機管理能力の育成。何が課題であり、どう考えているのか。組織の動きはどうなっているのか。訓練はされているのか、などを具体的に知りたい。内部努力で成果が上がったものについて、市民の目に映るもので、市職員の頑張りも見せて欲しいと思う。何らかの指標化を。</p>

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進 基本事業04 計画行政の推進	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 3】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<b>【事業の成果指標】</b> ①基本事業成果目標達成率 ②行政評価による改善事業件数	例えば、成果指標について「行政事務管理費の抑制」というようなものを金額を用いて表すというのはいかがでしょうか。	行政評価による改善事業件数では表現がわかりづらいのかと思うので検討する。

担当部署の評価内容	委員の意見
<b>【事業の達成状況】</b> 183の指標のうち、基本事業の42の成果指標が目標を達成しており、48指標が基準年度より成果向上が見られ、データのないものが5指標ある。 また、行政評価による改善事業件数については、平成13年度より実施してきた事務事業評価により改革、改善のあったものが、21年度までに275件となっている。今後も行政評価に対する職員の理解度を高めるため、説明会等を実施し定着させていきたい。	達成状況の最後に「今後も行政評価に対する職員の理解度を高めるため」となっているが、行政評価を開始してからかなりの年度が経っており、こういう言葉で説明会を実施するというのは受け入れ難い。また、こんなレベルで行政評価が市の職員に認識されているとしたら問題であるので、もう少し検討して欲しい。  PDSのサイクルについて、長期的な取り組みになればなる程甘さがでてくる。「S」の部分これは単なる評価ではなくて「見極め」と考える。そうなるのもっと動的にした方が良く、「チェック」と「アクション」この2つをここでやるとよい。チェックというのは評価も含めた点検で、アクションというのは良いところをどんどん伸ばしていくという意味での、改善というよりは更新。この動的な取り組みを特に長期的な取り組みではぶつけていくことによって分析力や展開力がアップしていくと考える。概ね妥当だが、もっと動的にすることによってこんな記述はなくなると思う。

政策07 計画実現に向けて

評価項目	評価	コメント
施策01 効率的な行財政運営の推進 基本事業05 情報セキュリティの確保と ネットワーク基盤の安定稼働	概ね適切	検討事項あり

【参照：資料 - 4】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<b>【事業の成果指標】</b> ①基幹系業務システムでの情報漏えい事件数 ②ネットワークシステムのダウン件数	この基本事業は「情報セキュリティの確保」となっており「基幹系業務システム」と限定してしまってもよいのか。それしか情報漏えいの可能性がないということであれば良いと思うが、それ以外のものもあるのであれば検討いただきたい。	今後、内容について検討する。

6

担当部署の評価内容	委員の意見
<b>【事業の達成状況】</b> セキュリティ自主点検や外部監査を実施し、自主点検結果について集計結果を職員に周知し、全庁的な情報セキュリティ意識の向上を図った。 また、前年度に引き続き情報機器等の更新を行い、ネットワーク網の安定稼働を図った。	情報セキュリティに関しては、あくまでもIT機器という道具を使う人間のモラルや職員の資質が大きく関与することから、達成状況の中に「職員に周知」だけではなく、「職員の意識向上を図る」などというものがあってもいいのではないだろうか。今、いろいろな問題が取りざたされているとこなので「江別市の職員の意識が非常に高い」ということを加えられるような方法を希望する。